

項目別評価

大項目1. 市民に提供するサービスその他の業務の質の向上

評価：A

	小項目数	V	IV	III	II	I
求められる医療の提供	5	0	2	3	0	0
信頼される温かな医療の実践	6	0	3	3	0	0
地域医療連携の強化及び地域への貢献	3	0	2	1	0	0
優れた医療人材の育成・確保と働き方改革	2	0	0	2	0	0
合計	16	0	7	9	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

令和6事業年度の実績報告を確認すると、中期計画に掲げた「市民に提供するサービスその他の業務の質の向上」に向け、求められる医療の提供を実施し、信頼される温かな医療の実践・地域医療連携の強化及び地域への貢献・優れた医療人材の育成・確保と働き方改革に取り組み、年度計画を計画どおり実施していると評価できる。

<総合医療センター>

- 施設の長寿命化を図るために順次1病棟を休止しながらの病棟改修工事を行った。
- 令和6年6月に「エキスパートパネル実施可能ながんゲノム医療連携病院」として指定され、がん遺伝子パネル検査から推奨治療決定までを自施設で完結できる施設となり、がんゲノム医療提供体制の強化を図った。
- 令和7年1月には、単孔式の内視鏡手術支援ロボットを大阪で初めて導入し、さらなる低侵襲医療や救急医療、高度医療の安定的な提供に努めた。
- 今後も質の高い総合的な医療の提供に努めてもらいたい。

<十三市民病院>

- 緩和ケア内科を立ち上げるとともに、地域に求められる急性期病院として一般医療のコロナ禍からの回復に取り組みつつ、引き続き市内唯一の結核病床の運営を行うなど、求められる地域の医療ニーズに応えた。
- 地域の医療機関と連携し、地域の医療ニーズに対応した医療の提供に努めてもらいたい。

<住之江診療所>

- 住吉市民病院廃止後の小児・周産期における一次医療の提供を行った、引き続き、地域医療の確保に努めてもらいたい。

大項目2. 業務運営の改善及び効率化並びに財務内容の改善

評価：A

	小項目数	V	IV	III	II	I
自律性・機動性・透明性の高い組織体制の確立	1	0	0	1	0	0
経営基盤の強化	7	0	5	2	0	0
合計	8	0	5	3	0	0

（評価にあたっての意見、指摘等）

令和6事業年度の実績報告を確認すると、中期計画に掲げた「業務運営の改善及び効率化並びに財務内容の改善」に向け、自律性・機動性・透明性の高い組織体制の確立に努めるとともに、経営基盤の強化に取り組み年度計画を計画どおり実施していると評価できる。

- 新型コロナウイルス感染症の影響により悪化した経営状況の早期回復に向け引き続き取り組んだ。
- 修正医業収支比率については、総合医療センターは診療報酬改定による単価上昇、十三市民病院は患者数の回復による医業収益の増加により、目標を上回った。
- 経常収支比率についても、両病院ともに新型コロナウイルス感染症関連補助金が廃止された影響で前年度より悪化したものの、目標を上回った。
- 十三市民病院はコロナ禍からの回復にむけて努力を続けているものの、まだ十分な状況とまでは言えない。
- 今後も材料費や人件費の高騰が予想され、より一層の努力が必要になる。引き続き、効率的な運営を図りながら、両病院の連携体制をしっかりと構築し、市民病院機構全体として、経営基盤の強化に向け取り組んでもらいたい。

全体評価

「全体として、年度計画及び中期計画のとおり進捗している」

大項目1	市民に提供するサービスその他の業務の質の向上	A 計画どおり
大項目2	業務運営の改善及び効率化並びに財務内容の改善	A 計画どおり

（評価にあたっての意見、指摘等）

大項目の「市民に提供するサービスその他の業務の質の向上」及び「業務運営の改善及び効率化並びに財務内容の改善」は、計画どおりと評価した。
 以上を踏まえると、令和6事業年度における大阪市民病院機構の取り組みは、全体として年度計画及び中期計画のとおり進捗していると評価できる。
 今後も医療機能の維持・向上を図り、効率的・効果的な病院運営と経営基盤の強化により一層努め、引き続き質の高い医療を提供し、市民の信頼に応えてもらいたい。